

2019年度一般入学試験(TEAP利用型) 記述式問題 解答

科目:2月3日 TEAP倫理

問1

三つの関わりとは、自然、人間、そして神との関係である。人間は、他の被造物の世話をし、神の似姿として人間を慈しまなければならない。それがひいては、神との正しい関係の基となる。(87字)

問2

開発途上国で、貧困や飢餓に苦しむ人々が、必要な援助を得られず苦しんでいること。(39字)

問4

人物	トマス・アクィナス	著作	神学大全
----	-----------	----	------

問5

この世界において、互いに無関係なものは存在しない。また、人間的側面と社会的側面は、相即不離の関係にある。それゆえ、断片化されがちな知識や情報も、総合的に捉えなければならないから。(89字)

問6

福島原発問題は、その代表的な一例である。この問題は、単なる環境問題に還元できず、国家の根本的姿勢(経済至上主義など)や国民一人ひとりの尊厳と人権が問われる問題でもある。(85字)

問7

(1) 人間は神によって等しく愛された存在であるから、等しく尊重される権利がある。(40字)

(2)

仏教・儒教

【仏教】一切衆生は、仏になりうる本性つまり仏性を持つ者として尊重される権利がある。(37字)

【儒教】すべての人は、惻隱の心を持つ者として、互いに憐み慈しみ合わねばならない。(36字)

問8

哲学者	アリストテレス	著作	ニコマコス倫理学
-----	---------	----	----------

問9

共通善を享受する人は、特定の人々ではなく、人間共同体の全構成員であるべきだから。(40字)

問10

「エコロジー」という言葉は、「家・住まい」を意味するギリシャ語の「オイコス」に由来する。それゆえ、私たちが生活するこの地球は、一つの家として考えることができ、またそうすべきである。それは、この地球上の出来事は、一つとして無関係なものはない、ということでもある。私たちには、それゆえ、自分が生きる今の時代だけでなく、将来にも負うべき責任がある。(171字)